

【創世記第26章】

「私たちは、主があなたとともにおられることを、
はっきり見たのです。」(26:28)

「わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福しよう。それはわたしが、これらの国々をすべて、あなたとあなたの子孫に与えるからだ。こうしてわたしは、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たすのだ。」(3節)アブラハムが祝福されたのは「わたしの声に聞き従い、わたしの戒めと命令とおきてとおしえを守ったからである。」(5節)ですが、イサクもまたそうでした。また私達もその祝福を受けつぐために集められています。

飢饉のとき2節「エジプトへは下るな。わたしがあなたに示す地に住みなさい。」という主のことばにも従って、主に語られたペリシテ人の所にいましたが、どこに行っても何をしても祝福されたので(12、13節にあるように「イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を見た。主が彼を祝福してくださったのである。こうして、この人は富み、ますます栄えて、非常に裕福になった。')イサクはペリシテ人に妬まれました。父の掘った井戸を使えるというのは生活する上で大きな助けになっていましたが、それがふさがれてその上追い出されてしまいました。しかしイサクは争いもせず、ただ主のみ前に坐して主のことばを聞いています。(24節)素晴らしい約束のことばにどんなに励まされたでしょう。

その後追い出したゲラルの王アビメレク達がやってきて言うのです。それが今日の箇所、「私たちは、主があなたとともにおられることを、はっきり見たのです。～あなたは今、主に祝福されています。」と言ってイサクと契約を結ぶように求めています。イサクの勝ち！神の勝ちですネ。

今年のみことばはあなたと共にいるこの民はみな主のみわざを見るであろうというのですから、神様は今年主の大いなるみわざを見せて下さるのです。しかも恐るべきことを見せて下さるのです。その為私たちの信仰の姿勢をイサクから学ぶ必要があります。「ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。」(Iペテロ2:23)「悪をもって悪に報いず、侮辱をもって侮辱に報いず、かえって祝福を与えなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのだからです。」Iペテロ3:9

神学校の「感謝と賛美」というマーリン・キャロザーズ師の授業がありますが、神様がありのままの私達を愛して下さるのだから、どんなにいらだつたり傷つけられても、その相手を見るのではなく、主をしっかり見て感謝し、賛美し、主が私たちのありのままを受け入れてくださったようにその人を受け入れましょう。主は私達の内側に住まわれる為に、私達を変えて下さる為に、贖う為につくり変える為に来られた、、、と教えられています。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会
Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven
主任牧師：イエス・キリスト
牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.11.23 No.816

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、
主のみわざを見るであろう。
わたしがあなたとともに行うことは
恐るべきものである。

出エジプト記 34：10



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center
<http://astone-blog.jp/tlcccrh/>

